

2024 タマダカップ 耐久レース

全クラス宛、参加に関する再確認事項

1. 規則の確認

・2024年 MFJ 国内競技規則および技術規則をよく確認する事。

2. 入場

- 1) ゲートオープン は 7:30 です。それ以前の入場はできません。
- 2) 7時35分から7時55分までの20分間は、国道から TAMADA までの通行を自粛してください。
※公共交通機関の運行の妨げにならないためです。ご協力をお願いいたします。

3. 選手受付

1) 日時・場所	11月3日 8時00分から コントロールタワー横ピット
2) 提示・提出物	①参加受理書 メール受理あるいはホームページからダウンロードした書式に必要事項を記入したものを提示。(当日受付にて事務局より書式を受け取ることも可能) ②保険証
3) 配布物	選手受付時に車番発信器を配布する。

4. 公式車両検査

- 1) タイムスケジュールに従い、コントロールタワー横の車検場で行われる(時間厳守の事)
- 2) 参加受理書兼車両仕様書を持参のこと
(車両仕様書には選手受付時に受付印が捺印されたものでなければならない)
- 3) 車検時に下記装備の検査も行うので持参する事
①ヘルメット(MFJ 公認のものを推奨) ②レーシングスーツ ③グローブ ④ブーツ
※装備類はあらかじめケース、バック類から出してから持参すること。

5. 届け出書類

- 1) 決勝までにリタイアの場合、それが確定した時点で速やかにリタイア届けを大会事務局に提出すること。
(車番発信器の返却とともに申告する。)
- 2) 決勝出走嘆願書は暫定予選結果発表後30分以内に大会事務局へ提出すること。
- 3) 届け出書類で不明な点があれば大会事務局へ問い合わせること。

6. ピットの使用

- 1) ピットエリアは必ず割り当てられたエリアを使用すること。
- 2) 場所に限りがあるので、譲り合って使用すること。
- 3) 電気の使用は各自で発電機を準備すること。(ピット電源の使用は禁止する。)
- 4) レース前日からの場所取りは禁止する。

7. コースイン

・コースインは全クラス、公式練習、オプション走行、予選、決勝を通じて車検場ピットより行うものとする。

8. スタート手順

(1) 予選

- ①指定ピットに整列し、エンジンは停止したまま待機する。(順不同)
- ②オフィシャルに従って、マシンのエンジンを掛けてピットロードよりコースインする。
- ③予選が終了し、自分のピットへ戻る際も指定ピットを通過すること。

(2) 決勝

- ①指定場所に予選結果順に整列し、エンジンは停止したまま待機する。
- ②オフィシャルに従って、マシンを押してピットロードよりコースインする。
※コース上に入れるのはスタートライダーとマシン補助の1名、計2名のみとする。
※マシン補助の方は長袖・長ズボン・グローブ・ブーツを着用し、サンダルなどの軽装靴は禁止する。
- ③10秒前から5秒前までアナウンスでカウントダウン、日章旗が振り降ろされたらスタートとなる。

9. 選手交代・給油

- 1) 選手交替する前に受付に交替の報告を行った上で、指定ピットで交替を行う。
※報告がない場合はペナルティが科せられる。
- 2) ピットインしたらエンジンを停止する。
- 3) 給油は指定ピット内で、車両がスタンドにより確実に安全に支持された状態で行うこと。
※給油中の他の作業は禁止する。
※給油器具は消防法適合の給油器具、または金属製の給油器に限る。
プラスチックのポンプやジョッキでの給油は禁止する。

10. ピットストップ

- 1) レース中に転倒、マシントラブル等でピットインする時は、指定ピットを通過して自分のピットまで戻ること。
- 2) 給油は自ピット内では行わず、指定ピット内で行うこと。
- 3) ピットアウト時も指定ピットを通過してからコースインすること。

11. 車両保管

- 1) 各クラスのレース入賞者は車両保管を行うため、指定ピットに車両を移動すること。
- 2) レース終了後は一度、使用しているピットに戻る。
- 3) 車両保管を行うライダーのゼッケンを場内放送するので、該当車両は指定ピットに移動すること。

12. 車番発信器の返却

- ・決勝レース終了後、速やかに大会事務局へ返却すること。

13. 賞典

- ・賞典については次の賞を設ける。

クラス	賞典
SP クラス	1位～3位
ST125 クラス	1位
NSF100 クラス	1位
CH クラス	1位～3位
全クラス共通	ポールポジション賞、ラッキー7賞、ブービー賞

- ・ただし出場台数に応じて表彰台数を変更する場合がある。